



2026 年 8 月 24 日

各位

会 社 名 株 式 会 社 J R C
代 表 者 名 代表取締役社長 浜口 稔
(コード番号：6224 東証グロース市場)
問 合 せ 先 経営管理本部長 常川 陽介
(TEL 06-6543-8680)

機電株式会社の株式の取得（子会社化）に関するお知らせ

株式会社 J R C（本社：大阪市西区、代表取締役社長：浜口 稔、以下「当社」）は、2026 年 8 月 24 日開催の取締役会において、機電株式会社（本社：大阪府高槻市、代表取締役：小畑 武史、以下「機電」）の全株式を取得し、子会社化することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

なお、本件は適時開示基準には該当しませんが、有用な情報と判断し任意開示を行うものであります。

記

1. 本株式取得の目的及び背景

当社事業の一つであるロボット S I カンパニーは 2018 年の立ち上げ以来、食品・医薬メーカーを中心に事業を展開し、労働力人口減少による自動化ニーズの拡大も相まって右肩上がりの成長を遂げています。この自動化ニーズは今後、更に拡大していくことを想定しており、同市場の成長に追随すべく、①食品・医薬領域へのロボットパッケージによる横展開・拡販強化、②特定技術を有する企業と事業統合し、当該技術を活用して前後工程を含めたライン受注を拡大させる方針です。

このたび事業統合を行う機電は、1971 年の設立以来、熱炉および搬送設備を中心とした各種省力化機械の設計・製造をオーダーメイドで手掛けてきた省人化機械メーカーです。長年にわたり培ってきた設計・製造技術と、多様な業種への豊富な納入実績を強みに、大手製造業を中心とした安定した顧客基盤を構築しております。また、熱炉と搬送設備を組み合わせた一貫提案や、ロボットを活用した工場内の省力化・自動化設備にも数多くの実績を有しております。

本株式取得により、機電が有する設計・製造技術と、当社ロボット S I カンパニーが培ってきたロボット自動化に関する設計・製造・システムインテグレーションの技術・ノウハウを融合することで、より付加価値の高い自動化ソリューションの提供が可能となります。また、当社宇治工場との連携により、営業・設計・製造・保守体制を一層強化し、お客様への対応力の向上と事業基盤の強化を図ってまいります。

当社グループは、本株式取得を通じてロボット S I カンパニーの事業基盤をさらに強化するとともに、より付加価値の高い自動化ソリューションの提供を通じて、お客様および社会の課題解決に貢献し、持続的な成長と企業価値の向上を目指してまいります。

2. 異動する子会社の概要

(1) 名 称	機電株式会社
(2) 本 社 所 在 地	大阪府高槻市芝生町1丁目23番6号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 小畑 武史
(4) 事 業 内 容	省力化機械の設計・製造・販売・メンテナンス
(5) 資 本 金	11 百万円
(6) 設 立 年 月 日	1971 年 4 月 5 日
(7) ホ ー ム ペ ー ジ	http://www.kiden.info/

3. 今後の見通し

本件が連結業績に与える影響につきましては、現段階においては軽微であると考えておりますが、今後、必要が生じた際には、その内容を速やかに開示いたします。

以上

株式会社JRC

(東証グロース:6224)

機電株式会社の株式の取得 に関するお知らせ

2026年8月24日



JAPAN
ROLLER
CORPORATION

機電株式会社の概要

会社概要

会社名	機電株式会社
本社所在地	大阪府高槻市芝生町1丁目23番6号
代表者	代表取締役 小畑 武史
設立日	1971年4月5日
資本金	11百万円
従業員数	13名（2025年6月時点）
事業内容	省力化機械の設計・製造・販売・メンテナンス 【主な営業品目】 ・熱炉、搬送設備、組立設備、梱包設備、検査設備

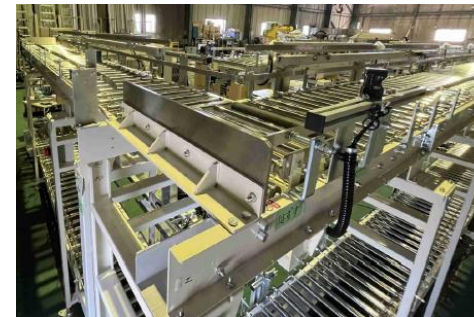
製品イメージ

■ 熱炉

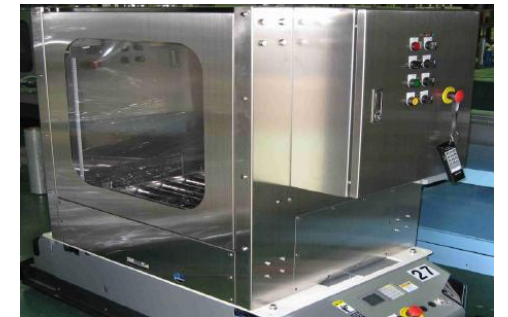


直交ロボット搬入出連続搬送炉

■ 搬送設備



2階建てコンベアライン

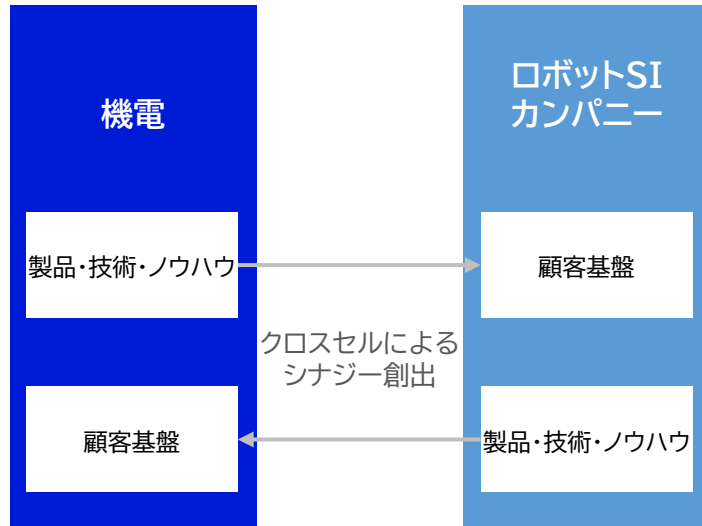


AGV搬送装置

熱炉と搬送設備を組み合わせた一貫提案や、ロボットを活用した工場内の省力化・自動化設備にも数多くの実績を有する

狙い・シナジー効果

営業・マーケティング



JRCマーケティングチームによる
新規顧客獲得支援

顧客基盤・営業ネットワーク・
マーケティング機能の活用による受注拡大

提供機能の拡充

ロボットSIカンパニーにおける案件の流れ

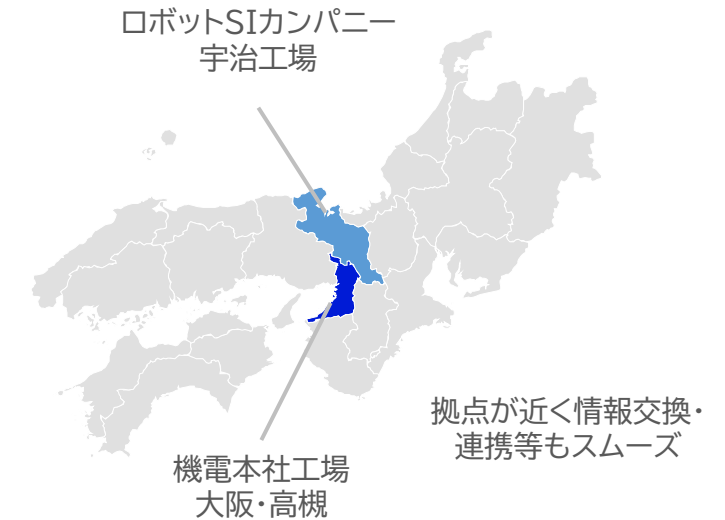


両社の一貫対応力を組み合わせることで、
対応キャパシティおよび提供機能を拡充

機電

両社の強みを組み合わせ、
対応力・提供機能を向上

拠点



JRC宇治工場・機電本社工場の
連携による対応力強化
(営業・設計・製造・保守等)